

## 令和5年度第4回大船渡市水道事業運営審議会 会議録

- 1 日 時 令和6年1月31日（水）9:50～11:10
- 2 場 所 大船渡市民文化会館 会議室
- 3 出席者  
（委員） 佐々木晋会長、金野弘美委員、佐藤清治委員、佐藤優子委員、  
佐藤政子委員、佐藤充子委員  
（事務局） 佐藤所長、後藤所長、今野次長、新沼技監、海山主幹、館下主幹、  
船砥所長補佐、熊谷係長、佐藤係長、奥山係長、西村主事
- 4 欠席者 北條一子副会長、志田千秋委員、菅原和子委員、古内裕子委員
- 5 議 題 (1) 令和6年度水道事業会計の予算等について  
(2) 大船渡市水道事業経営戦略（案）について
- 6 会議経過 以下のとおり

### 1 開会

#### 【海山主幹】

定刻前ではありますが、委員の方々のご出席を確認いたしましたので、ただ今より令和5年度第4回大船渡市水道事業運営審議会を開催いたします。

それでは、審議に入ります前に、前回の審議会と同様に引き続きオブザーバーとして簡易水道事業所の職員も出席しておりますことをお知らせいたします。

### 2 会長あいさつ

#### 【海山主幹】

それでは、次第に基づきまして「2 会長あいさつ」。佐々木会長からごあいさつをいただきますと思います。佐々木会長、よろしくお願いいたします。

#### 【佐々木会長】

皆さんおはようございます。本日はお忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。それでは、審議に先立ちまして一言ごあいさつを申し上げます。

元旦におきまして能登半島地震ですけれども、町並みが一変し、被害者が200名を超え、今も避難所で生活されている方が多数おられるということで、被害に遭われた皆様に対しましてご冥福お見舞いを申し上げますとともに、地震による被害が大変多岐にわたっておりますけれども、一刻も早い普通の生活、復旧復興をお祈りしたいと思います。そして、被災地でライフライン普及に向け、昼夜問わず頑張っている方々の行動を目にします。東日本大震災の当時を思い出しまして、暮らすこと、生きること、それを支えていただきましたこと、今普通の生活ができておりますこと、改めて業者の皆さんですとか、医療、また工事関係者をはじめすべての関係者の皆様に改めて感謝したいと思います。

ということで、そのライフラインに関する審議会になります。本日の審議会でございます。

すが、令和6年度の水道事業の予算ですとか、簡易水道との統合後の新たな経営戦略についてご審議いただくこととしておりますので、皆様から積極的なご意見ご質問ご要望等をいただきながら実りある会にしたいと思っておりますので、ご協力の方よろしくお願ひいたします。本日も、審議のほどよろしくお願ひいたします。

**【海山主幹】**

会長、ありがとうございます。

それでは、ここからは大船渡市水道事業運営審議会規則第4条に基づきまして、会長が会議の議長となります。引き続き、佐々木会長に進めていただくこととなりますので、佐々木会長、よろしくお願ひいたします。

**【佐々木会長】**

はい。

**3 審議**

**【佐々木会長】**

それでは、「3 審議」になります。「(1) 令和6年度水道事業会計の予算等について」、まず説明の方をお願ひいたします。

**【海山主幹】**

審議に入ります前に、事前に資料を配布しておりましたが、不足等ございませんでしょうか。なければ、審議の方に入らせていただきます。

それでは、令和6年度水道事業会計の予算等につきましては、資料の「令和6年度大船渡市水道事業会計予算（案）の概要」に基づきまして説明させていただきます。はじめに、今野より令和6年度水道事業運営の基本方針についてご説明申し上げ、以降各担当より内容等説明いたします。よろしくお願ひいたします。

**【今野次長】**

最初に私の方から令和6年度の水道事業運営の基本方針について説明いたします。予算（案）の概要1ページを開いていただき、2ページをご覧ください。

―― 資料「令和6年度大船渡市水道事業会計予算（案）の概要」2ページを説明 ――

以降につきましては、各担当からご説明申し上げます。

**【佐藤係長】**

それでは、令和6年度の業務の予定量につきましては、私、佐藤の方から説明させていただきます。引き続き3ページ業務の予定量について、ご説明いたします。

―― 資料「令和6年度大船渡市水道事業会計予算（案）の概要」3ページを説明――

以上となります。

**【奥山係長】**

続きまして、令和6年度の予算実施計画につきまして、私、奥山より説明させていただきます。資料の4ページをお開きください。

―― 資料「令和6年度大船渡市水道事業会計予算（案）の概要」4ページを説明――

私からは以上となります。

**【舘下主幹】**

令和6年度の主な予定事業につきまして、私、舘下から説明させていただきます。

―― 資料「令和6年度大船渡市水道事業会計予算（案）の概要」6ページを説明――

以上となります。

**【海山主幹】**

それでは、以上を持ちまして、審議事項「(1) 令和6年度水道事業会計の予算等について」のご説明を終わります。

**【佐々木会長】**

ありがとうございました。来年度の予算案についてご説明いただきましたが、ご意見ご質問等あればお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

**【佐藤清治委員】**

収入および支出のところが税込表記になっていて、最後の純利益は税抜表記になっていてわかりづらいなど。単純に足し算引き算で計算していくとこの数字にならないと思いついて、ちょっとわかりづらいなと思うんですけども。表記って決まりなんですかね。

**【佐々木会長】**

4ページですね。

**【佐藤清治委員】**

そうです。

**【海山主幹】**

ご指摘のとおりでございますが、令和6年度の税込の数字の収入と支出、そして右端の説明内容のところに税抜きをそれぞれ表記しております、その税抜きの表記の差し引きが純利益になります。純利益を表記する場合には、税込では表記しない形になってますので、上からこの表がそのままいけば税込の形での記載がよろしいかと思うんですけども、表記につきましては、そういった形での記載になります。

**【佐藤清治委員】**

もう基準かなんかで税込みにするってなっているんですかね。

**【海山主幹】**

そうですね。上の表につきましては標記上では税込で記載するような形になっております。そのため敢えて内容のほうに、右端に税抜金額を記載させていただいております。

**【佐藤清治委員】**

わかりました。

**【佐々木会長】**

ありがとうございます。その他ありますでしょうか。

――― 特に無し ―――

私から質問というのもいつもすみません。次の議題にも関係あると思うんですけども、単年度はマイナス8,000万をどういう形で補填するかは留保金の中からということでありまして、5年度簡易水道と水道事業と足されたなかで、4ページで令和5年度が一般会計からの繰り入れを少なくするというので、令和6年度が少なくなってますと。マイナス8,900万なんですけど、令和6年度は8,300万マイナスということで、マイナスの度合いがなんか違うようなことを今見てて思ったんですけど、なんか要因的なものって他にはないんでしょうか？なにか営業外費用とか営業外収益とか様々あると思うんですけど。

**【海山主幹】**

一番大きな要因としまして、単純に5年度ベースでも今年度終了後に決算を出すんですけども、現在の簡易水道には基準内での繰入の他に基準外分の繰入の費用が入っております。その分が6年度に事業統合した際になくなりますので、その分はダイレクトに収益に出てくるような形になります。要するに年間で大体ですけども、簡易水道分に2億円ほど基準内、基準外合わせた合計2億円ほどお金を投入しております。

そしてその分が、大体基準外が年間で9,000万程度入ってるんですけど、その分が丸々なくなります。それが今回の純利益としてのマイナス要因の一番大きいところなんです。収益としてマイナスになっています。

上水単体ですと黒字にはなるんですけども、若干その分黒字を出しても簡易水道のその赤字分補填される9,000万円分が丸々なくなりますので、その分は給水収益を上げると

ということが、人が増えることでもないし、料金が上がるわけでもないので、現状の収入でいるとダイレクトに出てくるというような形が一番大きな要因に思われます。

**【今野次長】**

それから5年度の数字というのは、予算額ベースで水道と簡易水道を足してるんですけども、実際5年度の決算見込みを今やっているんですけど、こんなに4000万も利益は出ません。

**【佐々木会長】**

5年度の方はまだ予算額なんですね。なるほど。

黒字から一気にということ。ただその8,900万だけの分しかなんとなく数字としては見えないなとちょっと思ったもんですから。その他経費も下がるんでしょうけどね。

皆さんよろしいでしょうか。あといずれ6年度以降の統合経営戦略という方でも今の収支も含め先々の内容について説明があると思いますので、また後で疑問等あれば言っていただいて、次の審議に進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

―― 委員から「はい」の声あり ―――

ありがとうございます。それでは、審議事項の(2)です。「大船渡市水道事業経営戦略(案)について」ご説明の方をお願いいたします。

**【今野次長】**

はい。事前にお配りしてました経営戦略(案)の方は、60ページ以上にわたるものになりますので、本日手元にお配りしました概要版(案)の方でご説明させていただきますので、概要版の方をお開き願います。

―― 資料「大船渡市水道事業経営戦略(案)(概要版)」を説明 ―――

長くなりましたけれども、説明は以上となります。

**【佐々木会長】**

ありがとうございました。ということで、概要版についてご説明いただきましたが、同じくご質問、ご意見等あればお伺いしたと思いますが、いかがでしょうか。

**【佐藤優子委員】**

水道料金の滞納はまだあるんですか？

**【海山主幹】**

まだございます。

**【佐藤優子委員】**

それは集金しているんですか。

**【海山主幹】**

その都度集金しておりますし、ただ中々厳しい状況の方もいらっしゃいますので、個々の状況に応じてお支払いいただいております。皆さんそれぞれの状況がありますので、返せる範囲で少しずつということで。中々水道の支払いまで手が回らない方もいらっしゃいます。

**【佐藤優子委員】**

ほんとに厳しいから払えないならっていうならいいんだけどもね。

**【佐々木会長】**

関連してですが、収納率とかそういったのはどうなんですか。逆に増えているのか減っているのかという。

**【佐藤係長】**

今年度の現年度収納率につきまして、水道債権につきましては、月ごとの債権なんですけれども、短期の現状としましては、去年年度末の各月収納率より0.2%ほど増加しておりますので、現年収益につきましては、収納状況は改善しているという形になります。

**【今野次長】**

大体现年の収納率は98%くらいをずっと維持しています。また、過年度分の滞納がある人達の方も少しずつ率は上がってきています。今我々の取り組みとしましては、滞納額が大きくなるほど中々払えなくなるということで、滞納額が小さいうちに督促や催告をかけたまま、その回数も今増やしてまして、毎月1回ずつ行っております。一斉に全部というわけにはいかないもので、小分けにして行っているんですけれども、とにかく高額滞納者を発生させないということがポイントかなということで、滞納額が少ないうちに給水停止も含めて行っています。

**【佐々木会長】**

大変でしょうけどね。よろしくお願いします。

**【佐藤優子委員】**

今年は雨も雪も少ないからね。雪水が少なくて今度は夏の水を心配する声も聞こえますけども。

**【佐々木会長】**

今年度も綾里でしたっけか、貯水量が少ないところがありましたが、その辺りはどうなんでしょうか。

【今野次長】

今現在、綾里川ダム、鷹生ダムともに、何日か前に降った雨が大きく影響してしまっていて、ほぼ満水です。

【佐藤優子委員】

あんな災害が起きると本当に水、水ってね。深刻ですもんね。

【佐々木会長】

そうですね。

【今野次長】

幸いですね、大船渡っていう地域は地盤が良くてですね、今回の能登半島地震なんか映像でいっぱい報道されてますけども、液状化っていうのが一番大きいです。要は、地中の水を含んだ砂系の地盤が揺れると、中でエネルギーが大きくなって地上にバーッと吹き出してくるっていうような現象なんですけども、水道管を入れているところの地盤は良くても、その下にそういった地盤があると下からポーンと持ち上げられてしまっていて抜けてしまったりとか、そういった被害が多く見られてますけども。大船渡の方は東日本大震災でもそういった地盤による被害っていうのはほぼなかったところですよ。

【佐藤優子委員】

地割れも酷いようだったね。東日本大震災の時もこの辺で地割れあったんですかね。

【今野次長】

若干はありましたけど、能登半島ほどのものはそんなになかったですね。

【佐々木会長】

地盤が波打つというよりは全体が上がったような感じじゃないですかね。私の会社の前の会館はやはり当時1.7mくらい上がったといわれたんですが、ただそれもまた落ち着いて、波打ちが少ないのが良かったのかなと思っているんですが。

【今野次長】

そういった災害に備えて給水収益の1年分ぐらいは蓄えておきましょうというふうな条件を付けて見通しを立てているんです。ただこれもハードルが高くてですね、全国を見ますと、同じような考え方で資金の残高を考えているケースは多いんですけども、それが故に、料金改定率をちょっと高くしないといけないというようなところもあるので、一年分じゃなくて、半年分にするというふうな事業体もでてきているところがあります。

当市の方も、このシミュレーションで令和16年度以降に料金改定が必要だと本編の方ではまとめているんですけども、概要版11ページの図6を見てほしいんですけども、この経営戦略の計画期間の10年間については、黒字幅が小さいと思います。16年度以降は、黒字幅が大きくなっているんですね。これというのは、まさに資金残高を給水収益の1年分確保するという条件を与えると、現金収入をもっと増やさないとけないというような

ことになっていまして、計画期間以降の利益幅が大きくなっているということです。これも先ほども説明したように、16年度以降の投資事業費については、机上の耐用年数です。例えばこの施設が40年になるから変えなきゃいけないというふうな、市の考えを入れて、その優先度とか重要度とかを反映させないで、単純な耐用年数だけを元にして算出しているが故というところもあって、今回の経営戦略の10年間でどういう事業をやっていくんだというようなことを、16年度以降も今後詰めていかないといけないということで、料金改定率も本編の方には16年度以降も載ってるんですけども、まだまだ精査が必要というふうな余地を残しています。ちょっと補足で説明しました。

**【佐々木会長】**

投資計画は本当の耐用年数だけで見てるとのことなんですよ。

**【今野次長】**

そうです。実際は今回の計画期間の中では、耐用年数が来てるんだけど、この施設は修理すればまだ伸びますよねとかっていうふうなことを考えながら事業計画立ててるんですが、16年度以降はそれなしで、単純に机上の耐用年数でその時期が来たら更新する単純な機械的な作業によって弾かれたものなので、本当にまだまだ精査の余地を残しているところですよ。

**【佐々木会長】**

8ページにあった結局その建設改良費の70億が50億の計画になっているということは、当時の耐用年数があったんでしょけども、いずれこの10年間を見込めば、耐用年数と本当にうまく修繕しながら使っていけば長く使えるものっていうのがあるので、こういったことになってるんですよ。ということなんですよ。

**【今野次長】**

そうです。さらに付け加えれば、本文中にも出てきたスペックダウンとかダウンサイジングとか、要は、作る必要のある水がどんどん減っていくので、施設規模も小さくしていくというのが本当のやり方なんですけど、このシミュレーションではそれを反映させてません。

というのは、反映させるためにはこの施設はいつごろどれぐらいサイズダウンできるのかとか、本当にもっと細かい作業が必要になってくるので、この施設規模の縮小という施策もまだ反映されてないので、もっと縮減できるはずだというふうに動いています。

ちなみに、令和8年度の14%というのはあくまで試算で確定ではないです。これから日本水道協会の料金算定要領っていうのを基に改めてまた計算とかかけます。なので、結果そのまま14%なのか1%減って13%なのかっていうのは、令和8年度の改定に向けて早急にやらなければならないです。

8年度に改定しなきゃいけないというのはその通りです。ただ、改定率については、あくまでシミュレーションの試算結果であって、料金算定を改めて行う予定です。なので、14%が確定しているわけではないのでご理解いただければと思います。



【佐々木会長】

概要最終ページにありましたけども、いずれ10年の計画の中で概ね5年間ということは、よく計画にある前期後期じゃないですけども、前期5年、後期5年のような形で、もっと別の事案があれば途中変更もありでしょうけども、まず全体の計画は10年ですけど見直しを5年くらいずつ行うという考えなんでしょうか。

【今野次長】

はい。その際に16年度以降の計画についても改めてまた検討していく形になります。

【佐々木会長】

長期も考えながらということですね。

【今野次長】

そうです。

【佐々木会長】

はい。その他にお気づきの点とかありますでしょうか。

今日の日報なんかにも載ってますけど、首都圏だけ人口が増えて、全国で増えてるのが6件7件でしたっけか。岩手も大船渡は減ってるわけですが。中々人口減少とか色んな先が見えない中で、いかに効率的に皆さんに負担を少なくご利用いただくかということで、水道事業の方で企画していただいている内容でございますので、特になければこの事項は了承ということでよろしいでしょうかね。

―― 委員から「はい」の声あり ―――

ありがとうございます。では、「その他」になります。

#### 4 その他

【海山主幹】

それでは、次第の「4 その他」に移らせていただきます。その他につきまして、何か本日の審議会に関する事、その他でも構いませんが何かありますでしょうか。

―― 特になし ―――

【佐々木会長】

なければ審議は終了ということでよろしいですね。皆さん大変ありがとうございました。

【海山主幹】

それでは、今回ご審議にいただきました経営戦略につきましては、2月8日に開催を予定しております市議会全員協議会の方において説明させていただき、議員の皆様より意見等を改めて頂戴し、それらを踏まえて最終的な大船渡市水道事業経営戦略とさせていただきます。

きたいというふうに考えております。

## 5 閉会

### 【海山主幹】

それでは、以上をもちまして、令和5年度第4回大船渡市水道事業運営審議会を終了させていただきます。委員の皆様におかれましては、長時間にわたりお時間をいただきまして、誠にありがとうございます。

なお、令和6年度の第1回の審議会につきましては、事業決算の終了後、概ね7月を目途に開催したいと思います。その際には5年度の上水道、簡易水道の別々な決算事項についてのご審議をいただく予定としております。

それでは、令和6年度も今年度同様、引き続きご協力お力添えの方をよろしくお願ひしたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

終了